

# 高齢者雇用

## 七年前に就業希望した男性の八割、女性六割が仕事に従事——厚労省縦断調査

# TOPICS

# 2

厚生労働省は二月十九日、同じ集団を対象に毎年実施している「中高年者縦断調査（中高年者の生活に関する継続調査）」の第八回（二〇一二年）結果をとりまとめた。

それによると、第一回調査時（二〇〇五年）に、「六〇～六四歳は仕事をしたい」と希望していた者のうち、男性は八一・二％、女性は六六・三％が、第八回調査時に仕事をしていることが明らかになった。

調査は、中高年者の健康状態や就業状態を継続的に把握するため、二〇〇五年一〇月末に五〇～五九歳を対象に始めて実施。今回調査では、第一回調査から協力が得られた二万二八八人を集計した。調査時の年齢は五七～六六歳になる。

### 六五歳以降の男性の半数近くが仕事に従事

第一回調査からの就業状況の変化をみると、「第一回から仕事あり」は、男性六五・八％、女性四〇・三％となる。「第一回から仕事あり」を年齢階級別にみると、「五七～五九歳」では、男性八三・一％、女性五二・五％、「六〇～六四歳」では、男性六五・三％、女性三九・一％、「六五～六六歳」では、男性四六・六％、女性二八・〇％となり、いずれの年齢階級でも男性のほうが

が、「第一回から仕事あり」の割合が高くなっている。とくに、男性では、六五歳を過ぎても半数近くが仕事に従事している模様だ。

### 離職理由は男女とも定年がトップ

第一回調査以降に、「仕事を辞めた経験がある」者について、離職理由をみると、男性では「定年」（三三・七％）、「契約期間が満了」（二二・九％）、「健康がすぐれなかった」（八・四％）、女性では「定年」（二四・〇％）、「健康がすぐれなかった」（二三・三％）、「契約期間が満了」（九・七％）となる。

定年を理由に離職し、第八回調査時に「仕事をしている」者の仕事のかたちをみると、男性は「契約社員・嘱託」（三九・五％）、「パート・アルバイト」（二二・四％）、「正規の職員・従業員」（二六・七％）の順になる。女性は、「パート・アルバイト」（五五・八％）、「契約社員・嘱託」（一八・五％）、「正規の職員・従業員」（八・三％）となる。

### 希望者の男性八割、女性六割が六〇歳以降も仕事をしている

第一回調査時における六〇～六四歳の就業希望と、第八回調査時に六〇～六四歳になった者の仕事の有無をみると、第一回調査で「六〇～六四歳は仕事をしたい」と希望した者のうち、

第八回調査で「仕事をしている」者の割合は、男性八一・二％、女性六六・三％となった。

第一回調査時に希望していた仕事のかたちでもっとも多かったのが、男性では「雇われて働く（フルタイム）」（二七・一％）となり、そのうち、第八回調査時に「正規の職員・従業員」（二七・七％）と「労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託」（三〇・五％）で半数以上を占めた。

女性では、第一回調査時の希望は、「雇われて働く（パートタイム）」（二九・七％）がもっとも多く、そのうち、第八回調査時に、「パート・アルバイト」だった者が四六・三％と半数弱を占めた。

### 六五歳以降も希望者の半数以上が仕事

第一回調査時の六五歳以降の就業希望と、第八回調査時の六五歳以降（六五歳、六六歳）の仕事の有無をみると、第一回調査時に「六五歳以降仕事をしたい」と希望したもののうち、第八回調査で「仕事をしている」割合は、男性六七・五％、女性五七・五％となった。

第一回調査時に希望していた仕事としては、男性は「自営業主、家業の手伝い」（二〇・二％）がもっとも多く、

そのうち、第八回調査時に「自営業主、家族従業者」だったのは六六・六％となった。女性では、第一回調査時に「雇われて働く（パートタイム）」を希望している者が一三・九％ともっとも多く、そのうち、第八回調査時に「パート・アルバイト」であったのは三八・二％となる。

### 仕事につながる免許・資格の取得を

一方、第一回調査時に「六〇～六四歳は仕事をしたい」と希望していた者のうち、現在六〇～六四歳の対象者について、調査開始前から第五回調査まで仕事のために取得した免許・資格の有無別に現在「仕事をしている」割合をみると、免許・資格を「取得したことがある」（男性八二・九％、女性六九・九％）ほうが、「取得したことがない」（男性七七・七％、女性六四・五％）より高くなっている。

さらに、第一回調査時に「六五歳以降仕事をしたい」と希望していた現在六五、六六歳についても、「仕事をしている」割合をみると、免許・資格を「取得したことがある」（男性六九・六％、女性六一・九％）ほうが、「取得したことがない」（男性六三・七％、女性五五・七％）より高くなっている。

厚労省担当者は、「現役時代から定年後を見据え、仕事につながる資格や免許を取得する意欲や姿勢といったものが、仕事の確保につながっているのではないかと話す。（調査・解析部）